

# 改正健康増進法の体系

## 子どもや患者等に特に配慮

- ・学校、児童福祉施設
- ・病院、診療所
- ・行政機関の庁舎 等

### 第一種施設

## 上記以外の施設\*

- ・事務所
- ・工場
- ・ホテル、旅館
- ・飲食店
- ・旅客運送事業船舶、鉄道
- ・国会、裁判所等

### 第二種施設

\* 個人の自宅やホテル等の客室など、人の居住の用に供する場所は適用除外

### 【経過措置】

既存の経営規模の  
小さな飲食店

- ・個人又は中小企業が経営
- ・客席面積100㎡以下

## ○ 敷地内禁煙

屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に、喫煙場所を設置することができる。

2019年  
7月1日  
施行

## ○ 原則屋内禁煙（喫煙を認める場合は喫煙専用室などの設置が必要） 経営判断により選択



2020年  
4月1日  
施行

## ○ 喫煙可能な場所である旨を掲示することにより、店内で喫煙可能 喫煙可能(※)



- ※ 全ての施設で、喫煙可能部分には、
- ① 喫煙可能な場所である旨の掲示を義務づけ
  - ② 客・従業員ともに20歳未満は立ち入れない

喫煙専用室と同等の煙の流出防止措置を講じている場合は、非喫煙スペースへの20歳未満の立入りは可能。

経営判断等

## 喫煙を主目的とする施設

- ・喫煙を主目的とするバー、スナック等
- ・店内で喫煙可能なたばこ販売店

## 喫煙目的施設

- ・公衆喫煙所

## ○ 施設内で喫煙可能(※)

## ○ 喫煙を行う場合は周囲の状況に配慮

(例) できるだけ周囲に人がいない場所で喫煙をするよう配慮。

子どもや患者等、特に配慮が必要な人が集まる場所や近くにいる場所等では喫煙をしないよう配慮。

2019年  
1月24日  
施行

屋外や家庭など

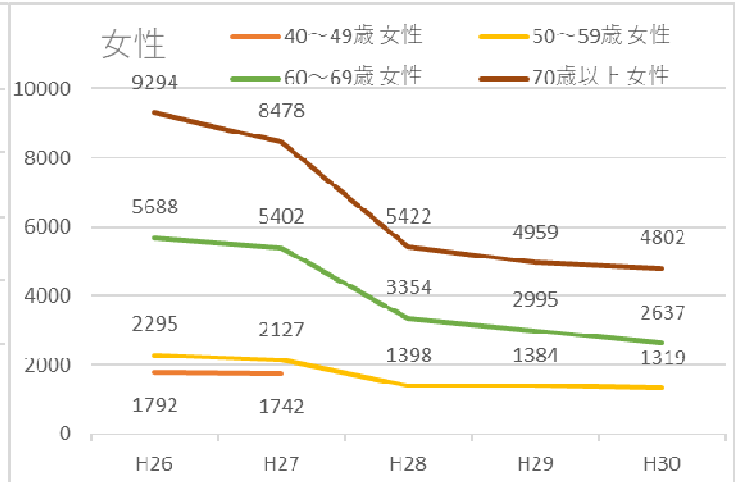
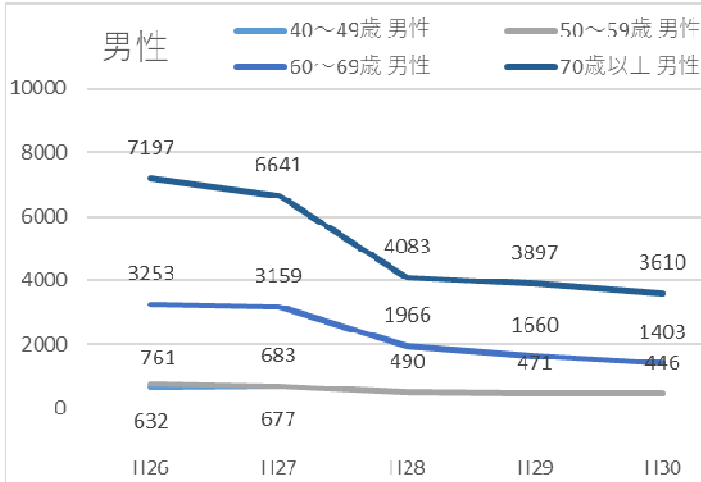
# 岡山市がん検診のまとめ

資料 2 - 1

## ●胃がん検診

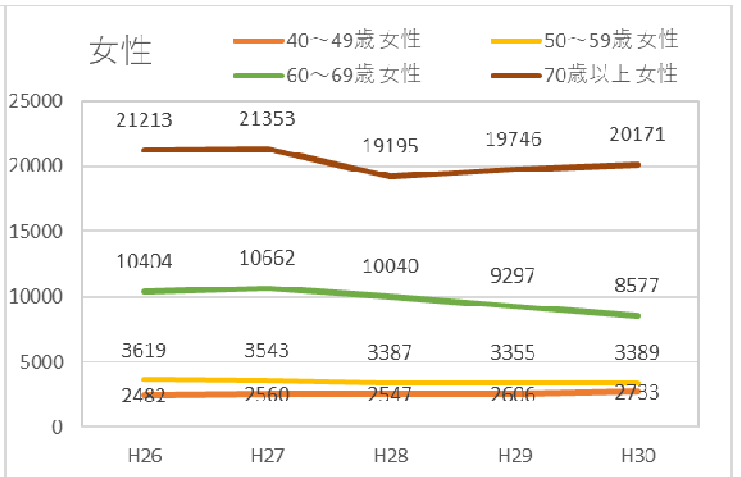
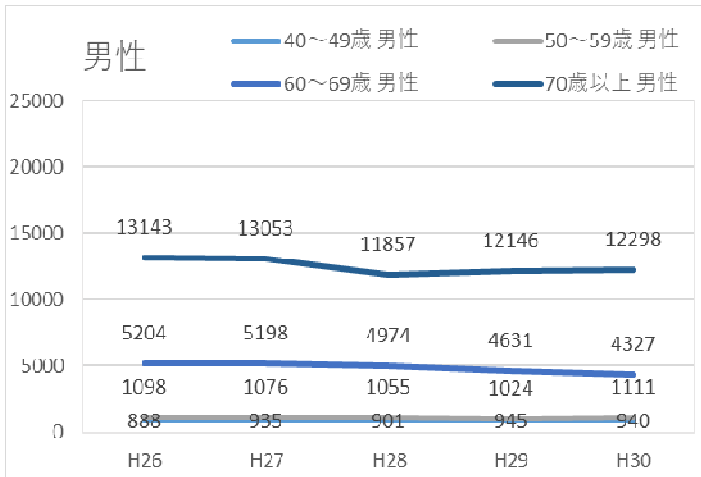
年代男女別受診者数年次推移

(H28から50歳以上隔年実施に変更)



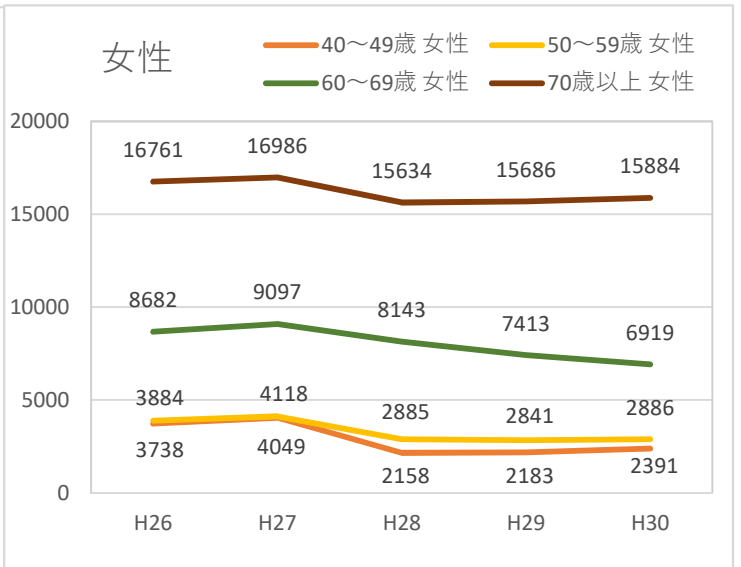
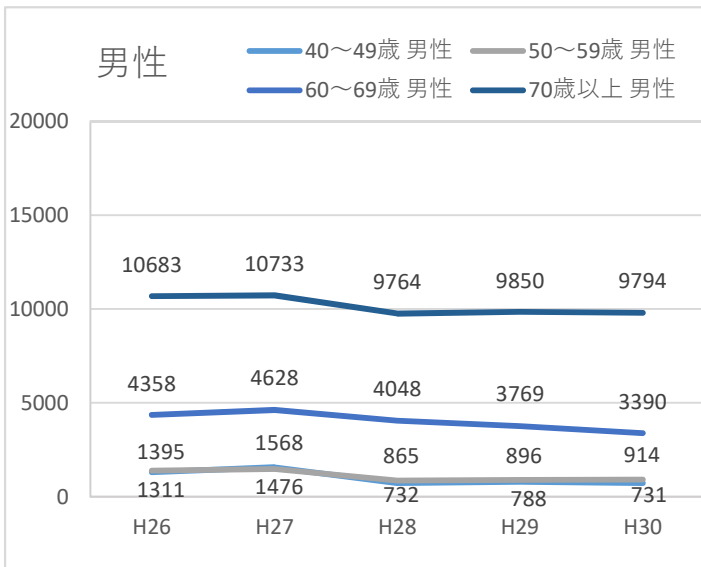
## ●肺がん検診

年代男女別受診者数年次推移



## ●大腸がん検診

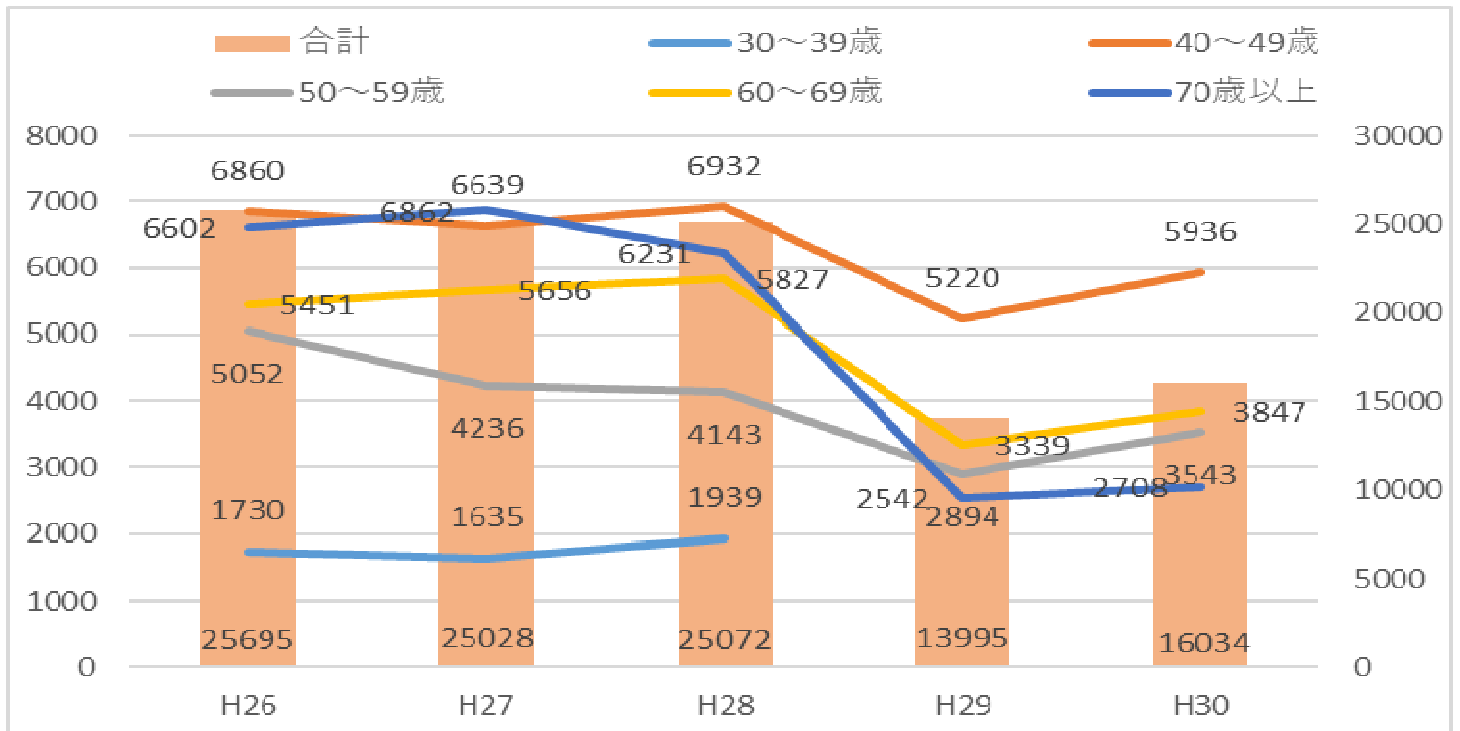
年代男女別受診者数年次推移



## ●乳がん検診

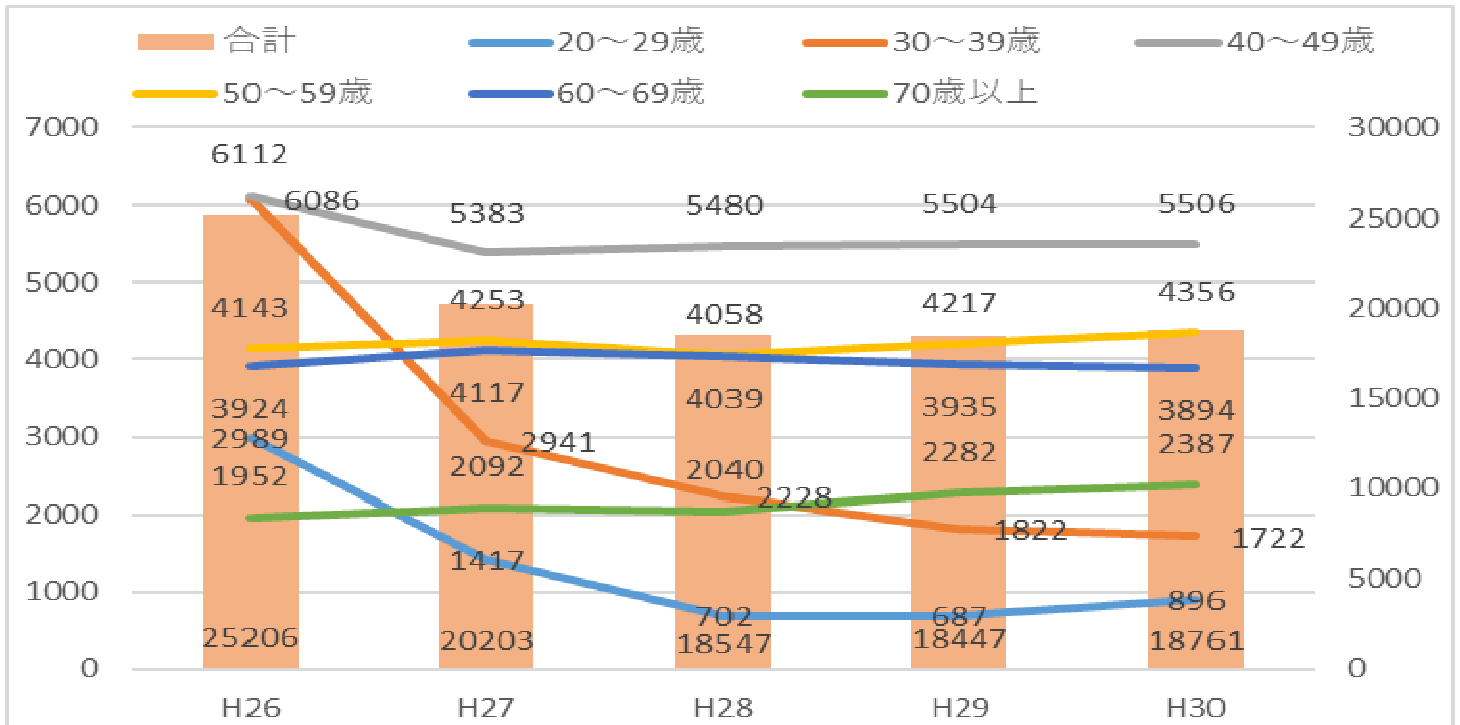
年代男女別受診者数年次推移

(H29から40歳以上マンモ併用隔年実施へ変更)



## ●子宮がん検診

年代男女別受診者数年次推移



# がん検診・精密検査のまとめ

平成30年度結果(平成31年4月末暫定値)

■胃がん検診

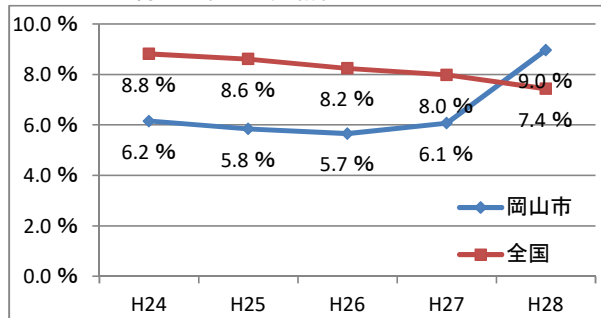
(平成30年度)

		全年齢				精度管理指標(50-74歳)			
		受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	がん発見率	陽性反応適中度
内視鏡検査	医療機関実施	5052	543	382	13	10.8%	72.3%	0.18%	1.6%
	X線検査	7831	453	244	4	5.8%	<b>54.6%</b>	<b>0.04%</b>	<b>0.6%</b>
	集団検診	1334	257	203	3	<b>15.8%</b>	80.6%	0.22%	1.2%
合計		14,217	1,253	829	23	8.8%	<b>66.2%</b>	0.16%	1.8%
						許容値※	許容値※	許容値※	許容値※
						11%以下	70%以上	0.11%以上	1.0%以上

※許容値は厚生労働省「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」報告書(平成20年3月)において示されたものです

## 平成24~28年度 地域保健・健康増進事業報告

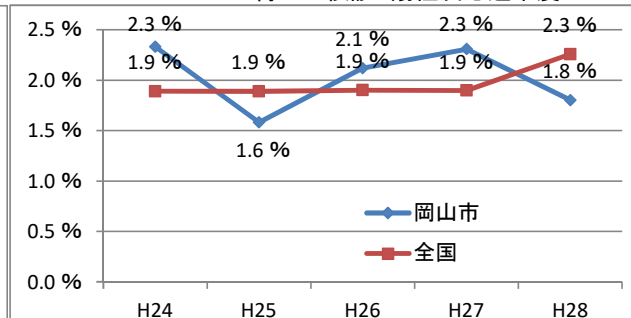
胃がん検診 要精検率



要精検率(%)=要精検者数/受診者数×100

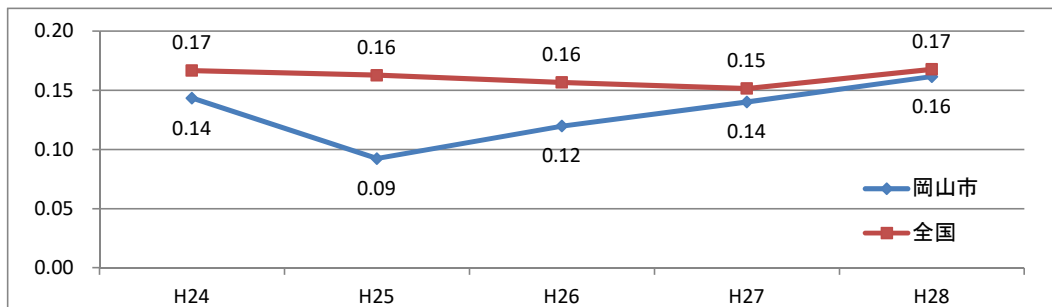
\* H28から50歳以上隔年実施・内視鏡検査導入

胃がん検診 陽性反応適中度

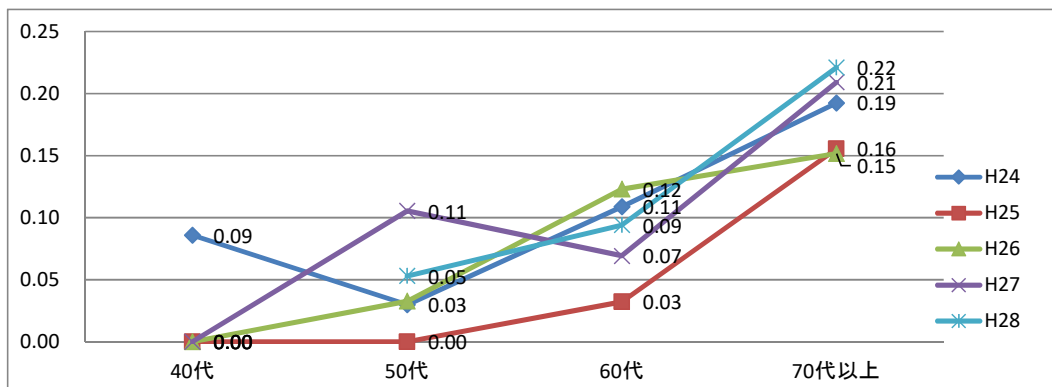


陽性反応適中度(%)=がんであった者/要精検者数×100

胃がん検診 発見率



岡山市 胃がん検診 発見率(年代別)



がん発見率(%)=がんであった者/受診者数×100

### 【精度管理プロセス指標の意味】

要精検率	検診において、精密検査の対象者が適切に絞られているかを測る指標
精検受診率	要精検者が実際に精密検査を受診したかを測る指標
がん発見率	その検診において適正な頻度でがんを発見できたかを測る指標
陽性反応適中度	その検診において効率よくがんが発見されたかを測る指標(検診の精度を測る指標)

# 平成30年度結果(平成31年4月末暫定値)

## ■肺がん検診

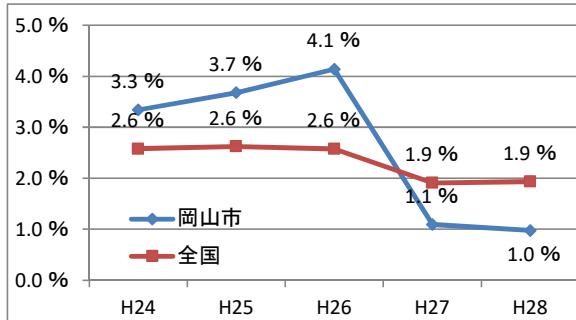
(平成30年度)

	全年齢				精度管理指標(40-74歳)			
	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	がん発見率	陽性反応適中度
医療機関実施	44,749	705	498	11	1.3%	70.9%	0.01%	0.9%
集団検診	8,797	9	9	0	0.1%	100.0%	0.00%	0.0%
合計	53,546	714	507	11	1.1%	71.3%	0.01%	0.9%
					許容値※	許容値※	許容値※	許容値※
					3.0%以下	70%以上	0.03%以上	1.3%以上

※許容値は厚生労働省「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」報告書(平成20年3月)において示されたものです

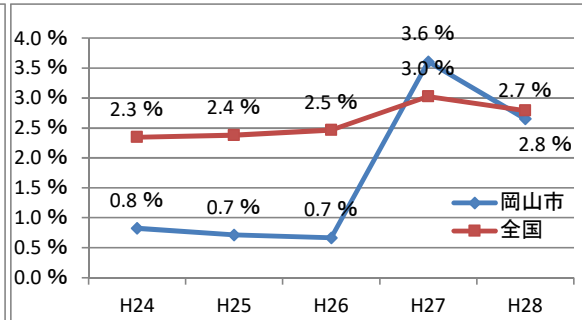
## 平成24～28年度 地域保健・健康増進事業報告

肺がん検診 要精検率



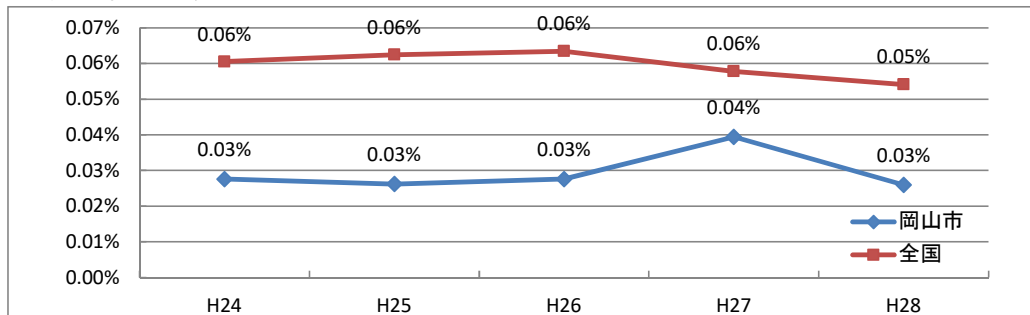
要精検率(%)=要精検者数/受診者数×100

肺がん検診 陽性反応適中度

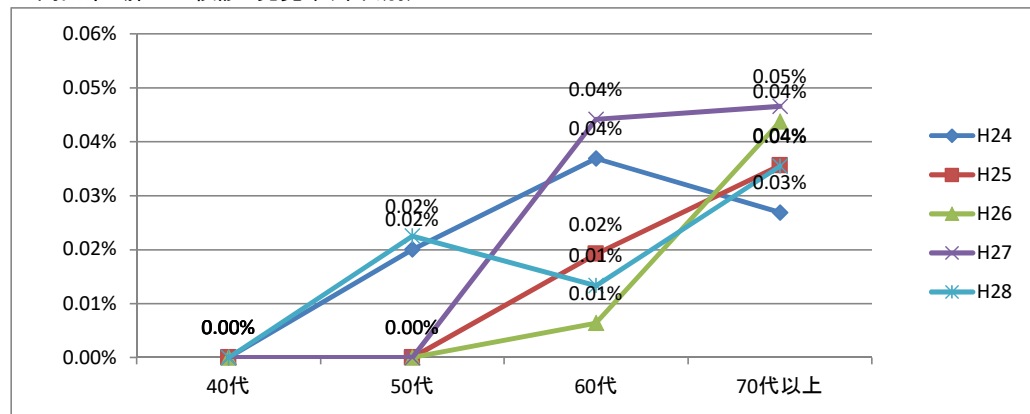


陽性反応適中度(%)=がんであった者/要精検者数×100

肺がん検診 発見率



岡山市 肺がん検診 発見率(年代別)



がん発見率(%)=がんであった者/受診者数×100

# 平成30年度結果(平成31年4月末暫定値)

## ■大腸がん検診

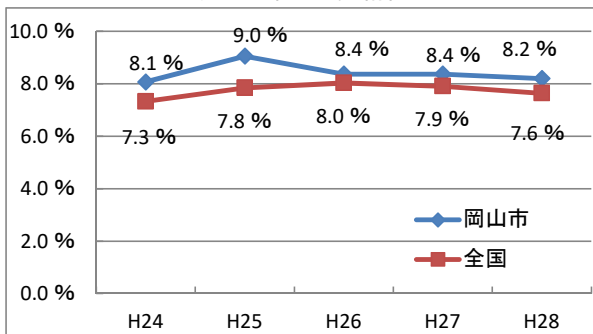
(平成30年度)

	全年齢				精度管理指標(40-74歳)			
	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	がん発見率	陽性反応適中度
合計	42,898	3,153	1,792	71	6.5%	<b>67.1%</b>	0.16%	2.4%
					許容値※	許容値※	許容値※	許容値※
					7.0%以下	70%以上	0.13%以上	1.9%以上

※許容値は厚生労働省「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方について」報告書(平成20年3月)において示されたものです

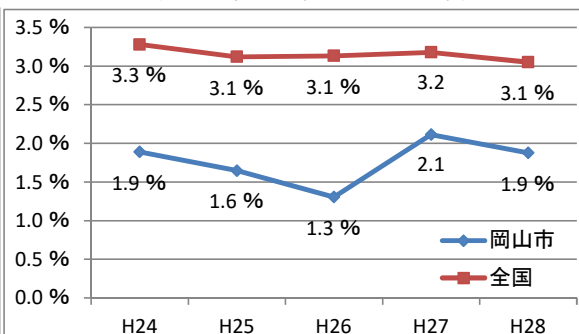
## 平成24~28年度 地域保健・健康増進事業報告

大腸がん検診 要精検率



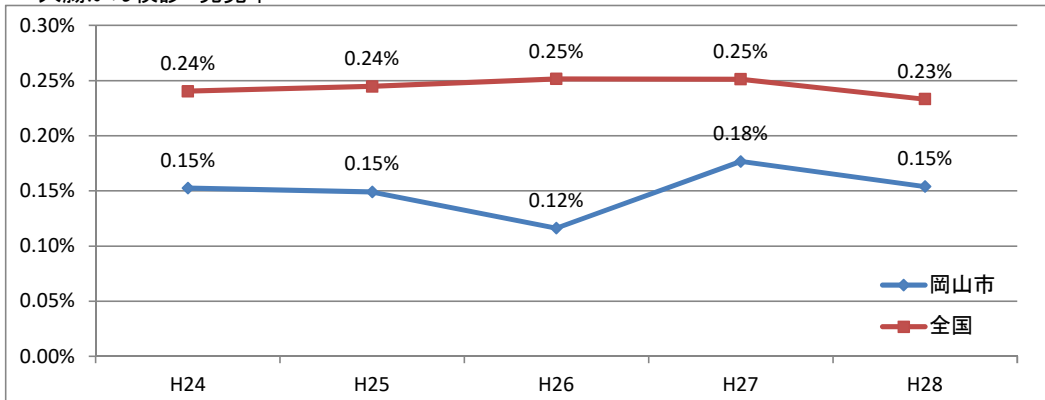
要精検率(%)=要精検者数/受診者数×100

大腸がん検診 陽性反応適中度

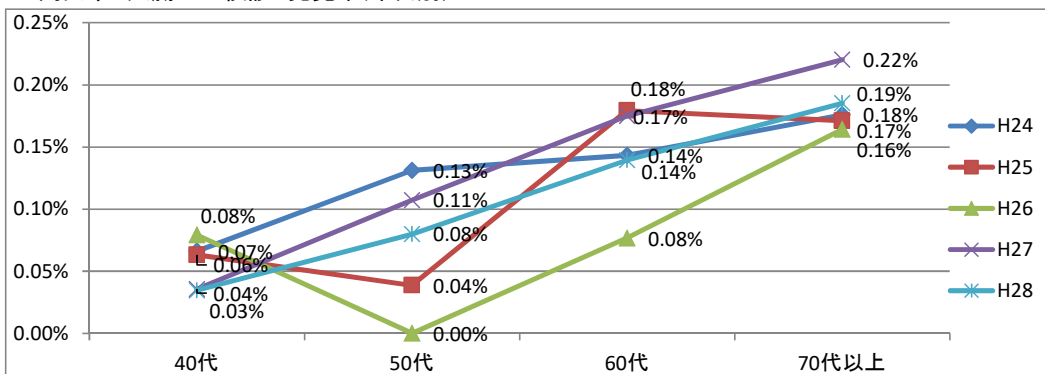


陽性反応適中度(%)=がんであった者/要精検者数×100

大腸がん検診 発見率



岡山市 大腸がん検診 発見率(年代別)



がん発見率(%)=がんであった者/受診者数×100

# 平成30年度結果(平成31年4月末暫定値)

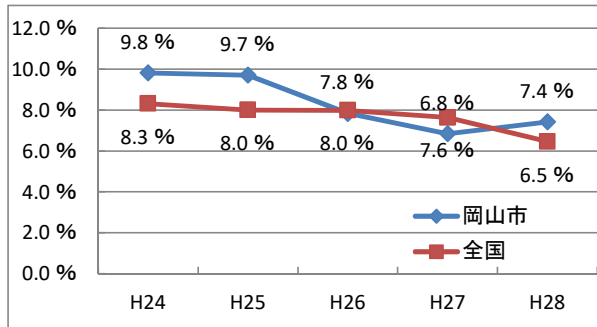
■乳がん検診(マンモグラフィ+視触診併用)

(平成30年度)

	全年齢				精度管理指標(40-74歳)			
	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	がん発見率	陽性反応適中度
医療機関	14711	1131	1016	45	7.8%	90.0%	0.29%	3.7%
集団検診	1323	95	49	1	7.5%	<b>50.5%</b>	<b>0.08%</b>	<b>1.1%</b>
合計	16,034	1,226	1,065	46	7.8%	86.9%	0.27%	3.5%
					許容値※	許容値※	許容値※	許容値※
					11.0%以下	80%以上	0.23%以上	2.5%以上

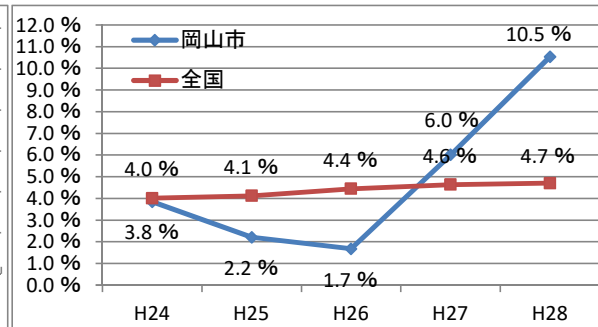
## 平成24～28年度 地域保健・健康増進事業報告

乳がん検診(マンモ併用) 要精検率



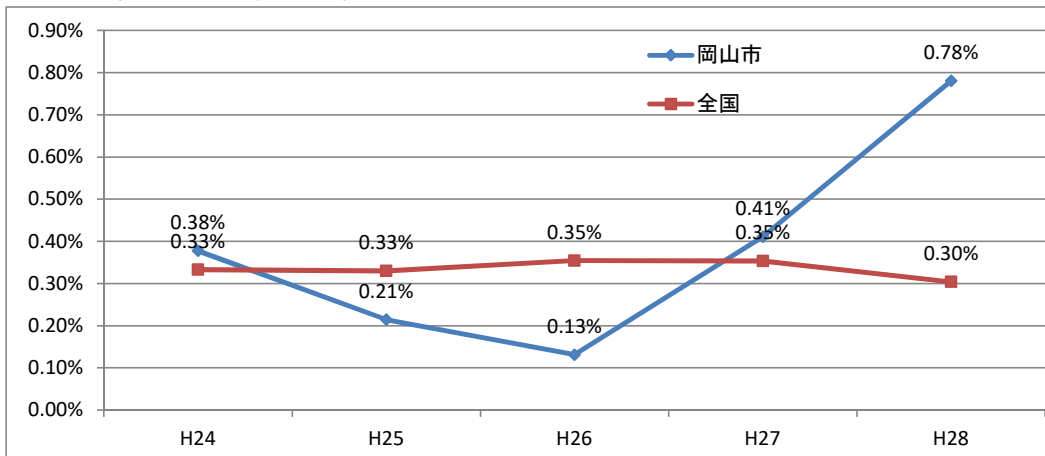
要精検率(%)=要精検者数/受診者数×100

乳がん検診(マンモ併用) 陽性反応適中度

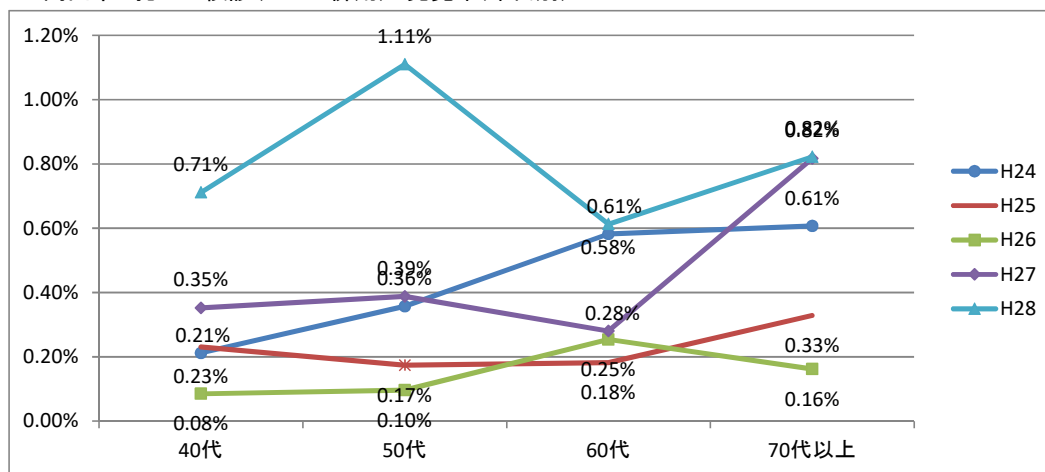


陽性反応適中度(%)=がんであった者/要精検者数×100

乳がん検診(マンモ併用) 発見率



岡山市 乳がん検診(マンモ併用) 発見率(年代別)



がん発見率(%)=がんであった者/受診者数×100

# 平成30年度結果(平成31年4月末暫定値)

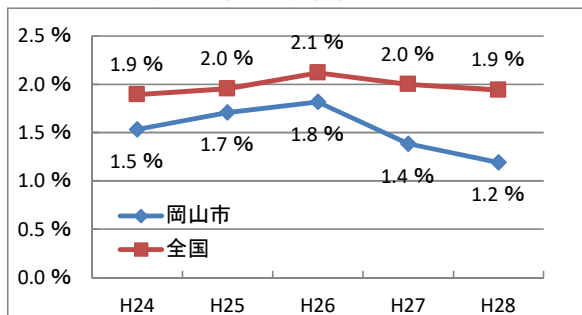
## ■子宮頸がん検診

(平成30年度)

	全年齢				精度管理指標(20-74歳)			
	受診者数	要精検者数	精検受診者数	がんであった者	要精検率	精検受診率	がん発見率	陽性反応適中度
医療機関	18144	254	193	3	1.5%	75.9%	0.02%	1.2%
集団検診	617	1	1	0	0.2%	100.0%	0.00%	0.0%
合計	18,761	255	194	3	1.4%	76.0%	0.02%	1.2%
					許容値※	許容値※	許容値※	許容値※
					1.4%以下	70%以上	0.05%以上	4.0%以上

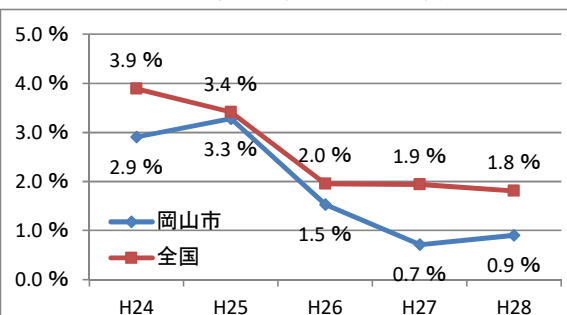
## 平成24～28年度 地域保健・健康増進事業報告

子宮がん検診 要精検率



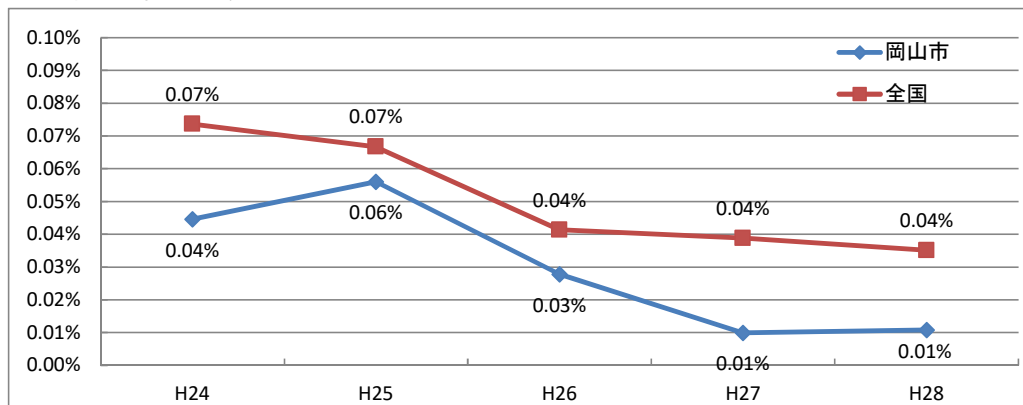
要精検率(%)=要精検者数/受診者数×100

子宮がん検診 陽性反応適中度

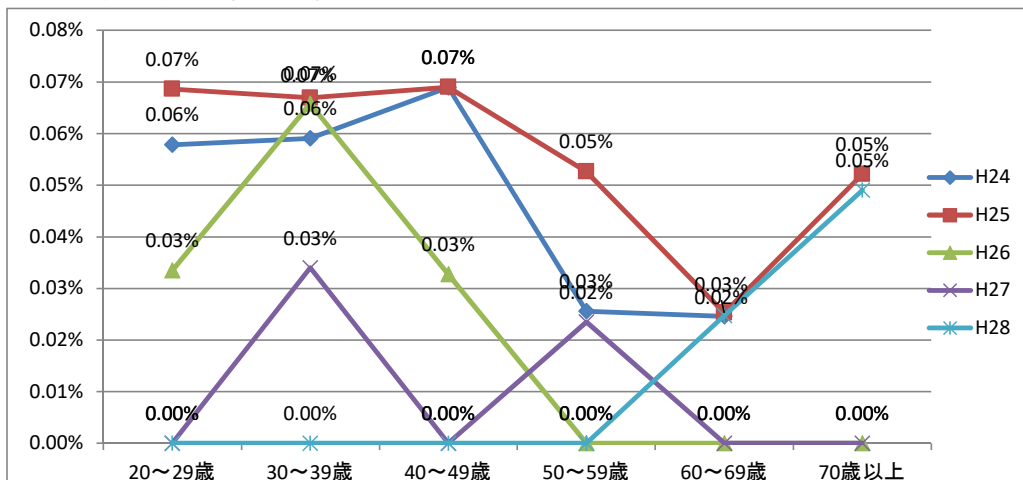


陽性反応適中度(%)=がんであった者/要精検者数×100

子宮がん検診 発見率



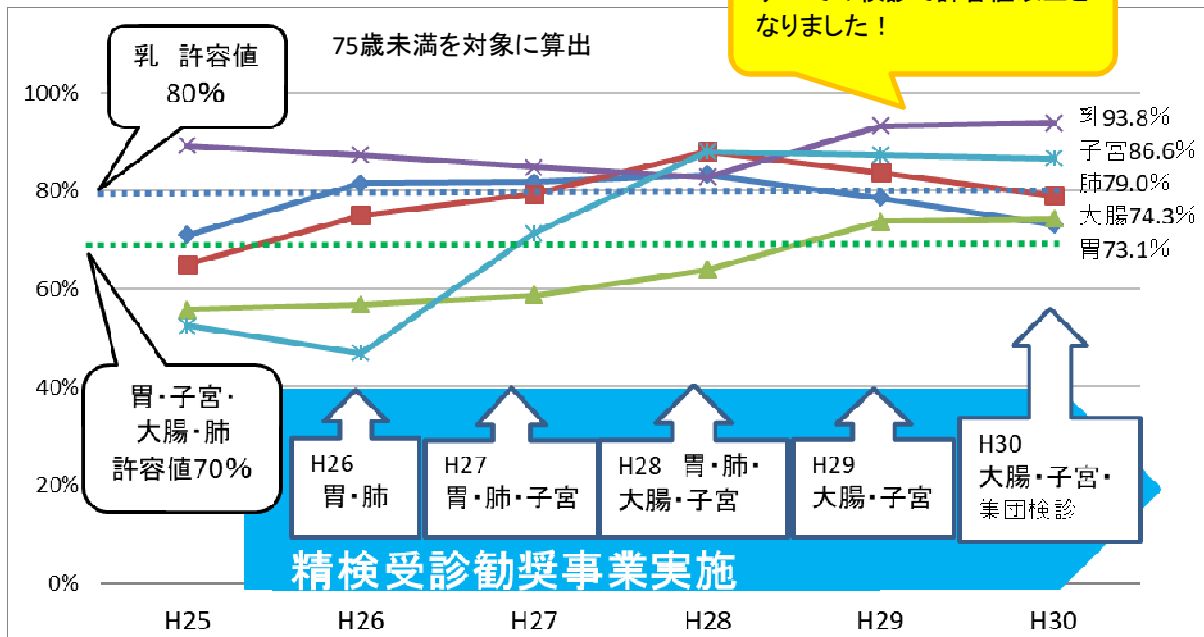
岡山市 子宮がん検診 発見率(年代別)



がん発見率(%)=がんであった者/受診者数×100



## 精検受診率の推移 (H25-30)



## 平成30年度 精度管理事業の概要

### 平成30年度 がん検診精検受診勧奨事業 結果

	対象者	内容	郵送数
大腸がん検診	要精検者のうち精検結果未把握者	受診勧奨文と受診結果報告票、大腸内視鏡検査に関するリーフレットを送付	991名
子宮頸がん検診	精検結果未把握者の一次検診実施医療機関	一次検診機関で精検実施している場合の精検結果通知書の提出依頼	20医療機関 (69名分)
集団検診	年度末時点での要精検者のうち精検結果未把握者	電話による受診勧奨	(架電対象人数: 胃13、乳13、肺2)
精度管理指標の個別送付	平成28年度岡山市がん検診実施医療機関	精検受診率、要精検率などの精度管理指標の医療機関別結果	362医療機関

※精検結果把握対象者は年度年齢75歳未満

## 令和1(平成31)年度 精度管理事業の概要

### 平成30~令和元年度 がん検診精検受診勧奨 実施内容

	対象者	内容
大腸がん検診	要精検者のうち精検結果未把握者	受診勧奨文と受診結果報告票、精密検査に関するリーフレットを送付
【新】胃がん(エックス線)検診		
【拡充】集団検診(胃、肺、乳・子宮)		
【新】乳がん検診 子宮頸がん検診	精検結果未把握者の一次検診実施医療機関	一次検診機関で精検実施している場合の精検結果通知書の提出依頼
精度管理指標の個別送付	平成28年度岡山市がん検診実施医療機関	精検受診率、要精検率などの精度管理指標の医療機関別結果

※精検結果把握対象者は年度年齢75歳未満

## 令和元年度の取り組み：早期発見の推進

### <がん検診受診率向上>

#### 1 意識の向上：疾病や検診の意義に対する理解を深めるサポート

- (1) 「けんしんガイド」に併せて、ソーシャルマーケティング効果があると実証された国立がん研究センター推奨の「五がん検診パンフレット」を全世帯に配布
- (2) 国保特定健診受診券に、『特定健康診査と一緒に、岡山市がん検診を受けましょう。』と啓発文を掲載
- (3) 市民（愛育委員会等）との協働による啓発活動
  - ・乳・子宮頸がん検診受診勧奨チラシの全戸回覧
  - ・集団検診（乳・子宮頸がん検診、結核・肺がん検診、胃がん検診）の案内
  - ・健康教育の実施
  - ・健康イベント、地域行事等に合わせて受診勧奨パネル展示や声かけ活動
  - ・「もう、けんしんは受けられましたか」の全戸回覧
- (4) 企業との協働による啓発活動
  - ・「がん検診受診率向上プロジェクト協定締結企業グループ」（7社：おかやま信用金庫、アフラック、第一生命、フコク生命、東京海上日動火災保険株式会社、日本生命保険相互会社、三井住友海上あいおい生命）とチラシ作成・配布
  - ・「がんを知る展」パネル展を協働実施

#### 2 障害の除去：費用やアクセスなど受診環境を整える

- (1) ワンコイン検診（肺がん検診・乳がん検診）の啓発
  - ・国保特定健診（500円）との同時受診を勧奨
- (2) 重点地区での乳・子宮頸がん集団検診の実施
  - ・実施会場数：12会場（新設：瀬戸中学校区会場）
  - ・乳がん検診受診者数：634人
  - ・子宮頸がん検診受診者数：565人
- (3) 協会けんぽ等保険者との連携によるセット検診（1～2月実施）
  - ・協会けんぽ等被扶養者及び国保特定健診未受診者を対象に集団検診の実施
  - ・同時で乳がん検診：8会場
  - ・同時で肝炎ウイルス検査：18会場

#### 3 きっかけの提供：適切なメッセージによる受診勧奨

- (1) がん検診無料クーポン券（乳・子宮頸がん検診）の送付
  - ・子宮頸がん検診：今年度 21歳になる女性 3,743人
  - ・乳がん検診：今年度 41歳になる女性 4,737人

(2) コール・リコール（勸奨・再勸奨）

- ・無料クーポン券未利用者

子宮頸がん検診（21歳女性）：3,055人

乳がん検診（41歳女性）：4,398人

- ・乳がん検診未受診者

今年度未受診の44歳・50歳・60歳女性：14,098人

【新規】H27・28年度乳がん視触診検診受診者のうち、今年度までマンモグラフィ併用検診未受診者（未移行者）：2,922人

- ・肺がん検診未受診者（66歳男性）：3,461人

(3) 広報活動

- ・ラジオ（レディオ・モモ）

- ・広報誌（市民の広場おかやま）

- ・新聞、雑誌、電話帳等への啓発記事の掲載

- ・市庁舎への懸垂幕掲示

### <がん精密検査受診勸奨>

- ・精密検診未受診者へ個別受診勸奨通知や受診結果の把握

対象検診：大腸がん検診

【新規】胃（エックス線）、集団検診（胃、結核・肺、乳・子宮）

- ・精検結果報告書の未把握について一次医療機関に通知

対象検診：子宮頸がん検診

【新規】乳がん検診（自院マンモグラフィ撮影機関）

### <がん検診の精度管理向上>

- ・一次検診実施医療機関へ精度管理指標の個別結果送付

平成29年度一次検診実施医療機関へ、医療機関ごとの受診者数、精検実施者数、精度管理指標の結果（要精検率・精検受診率・がん発見率・陽性反応適中度）等を集計し、送付

- ・医療機関へ精密検診依頼書（結果通知書）の提出依頼送付

## 令和2年度の取り組み（予定）：早期発見の推進

### <がん検診受診率向上>

がん検診の受診率向上に向けて、以下の取組を実施する。

#### <受診行動に影響を与える3大要因>

#### 1 意識の向上      2 障害の除去      3 きっかけの提供

出典：国立がん研究センター保健社会学研究部

「ソーシャルマーケティングを活用したがん検診受診率向上プロジェクト」事務局

#### 1 意識の向上：疾病や検診の意義に対する理解を深めるサポート

- (1) 「保健所からのお知らせ」「けんしんガイド」の配布
- (2) 国保特定健診受診券に、がん検診の同時受診について情報提供

#### 2 障害の除去：費用やアクセスなど受診環境を整える

- (1) ワンコイン検診（肺がん検診・乳がん検診）の啓発  
国保特定健診対象者へ同時受診を勧奨
- (2) 重点地区で乳がん・子宮がん集団検診の実施

#### 3 きっかけの提供：適切なメッセージによる受診勧奨

- (1) コール・リコール（勧奨・再勧奨）  
啓發文面にナッジ理論を活用
  - ・クーポン券未利用者（乳がん検診：41歳女性）
  - ・乳がん検診未受診者（44歳・50歳・60歳女性）
  - ・肺がん検診未受診者（66歳男性）
  - ・子宮頸がん検診未受診者（30歳女性）

### <がん精密検査受診勧奨>

精密検診未受診者へ個別受診勧奨（対象検診を拡大）

### <がん検診の精度管理向上>

一次検診実施医療機関へ精度管理指標の個別結果送付  
医療機関へ精密検診依頼書・結果通知の提出依頼

## ○「がんに関する教育」について

## ＜目的＞

現在、日本人の2人に1人が、がんになり、3人に1人ががんで亡くなると言われている。がんは、日常生活と密接に関係する疾患であり、がんを予防するためには、生活習慣を形づくる時の教育が大変に重要である、このことから、ある程度の理解力が備わり、また喫煙習慣や生活リズムの変化をきたしやすい中高生を対象とし、がんの理解と予防に関する知識を深めていくことを目的として、がんに関する教育を推進していく。

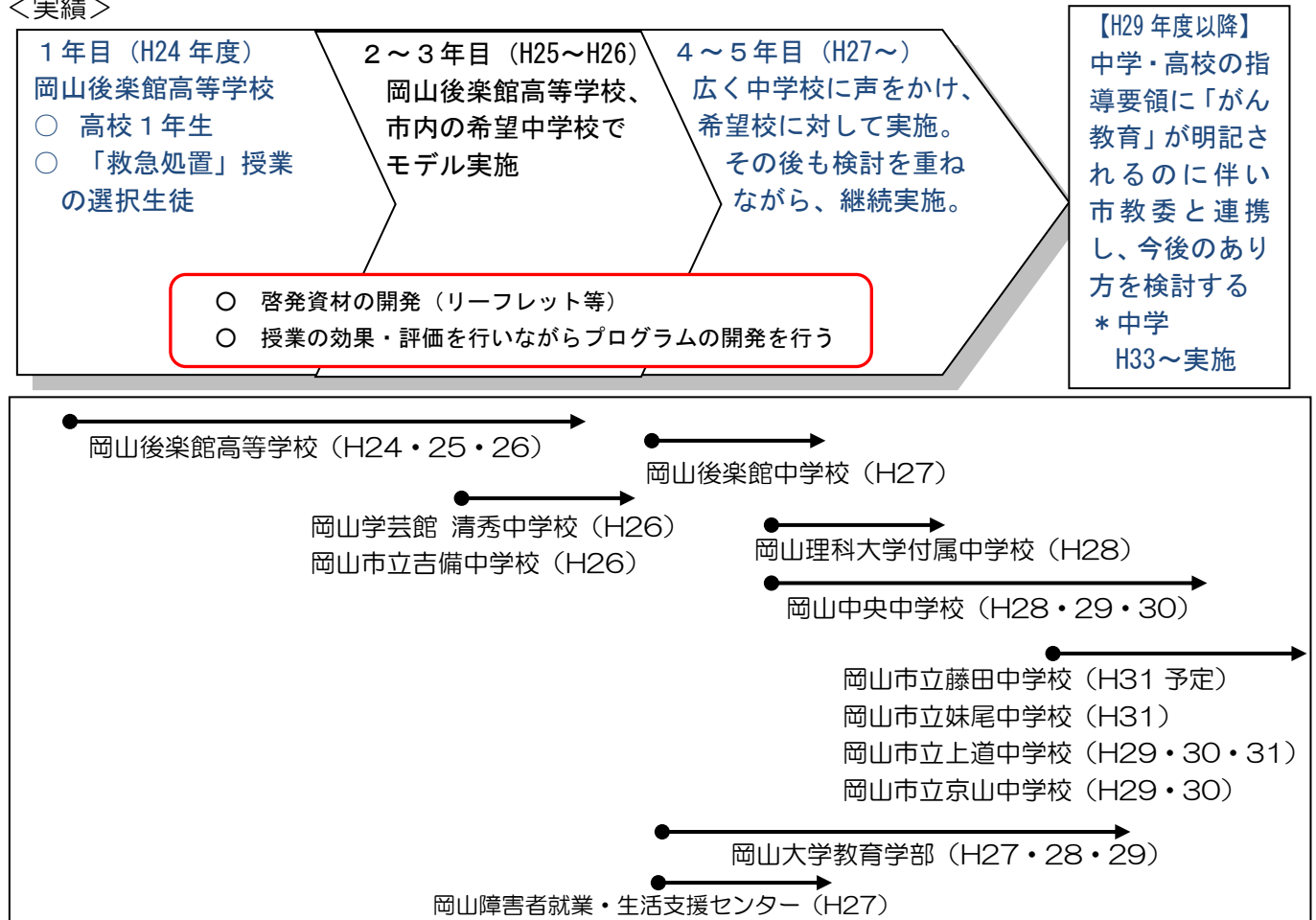
## ＜ねらい＞

健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理し、がんに対する正しい知識とがん患者に対する正しい認識を持つように教育する。

## ＜方法＞

- 1 モデル校・実施希望校におけるがん教育の実施（H24年度～）
- 2 教育啓発資材の開発 ⇒ リーフレットの作成・使用（平成26年3月末初版発行）
  - ・中学生や高校生にもわかり易い啓発資材を作成し、効果的ながんに関する教育を行う。

## ＜実績＞



## 3 授業内容

- 講師による講話：医師、保健師、栄養士等、がん患者、MSW等
- リーフレット：『知って欲しい「がん」のこと』…平成30年3月改定
- 授業時間：50分内容（がんに関する知識の講話中心）と100分内容（知識及びがん患者からの講話）の2通りのプログラム